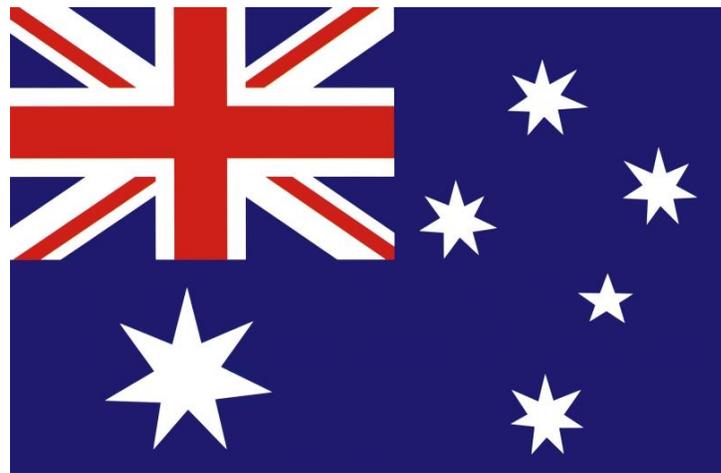


オーストラリア 多文化社会の歩み

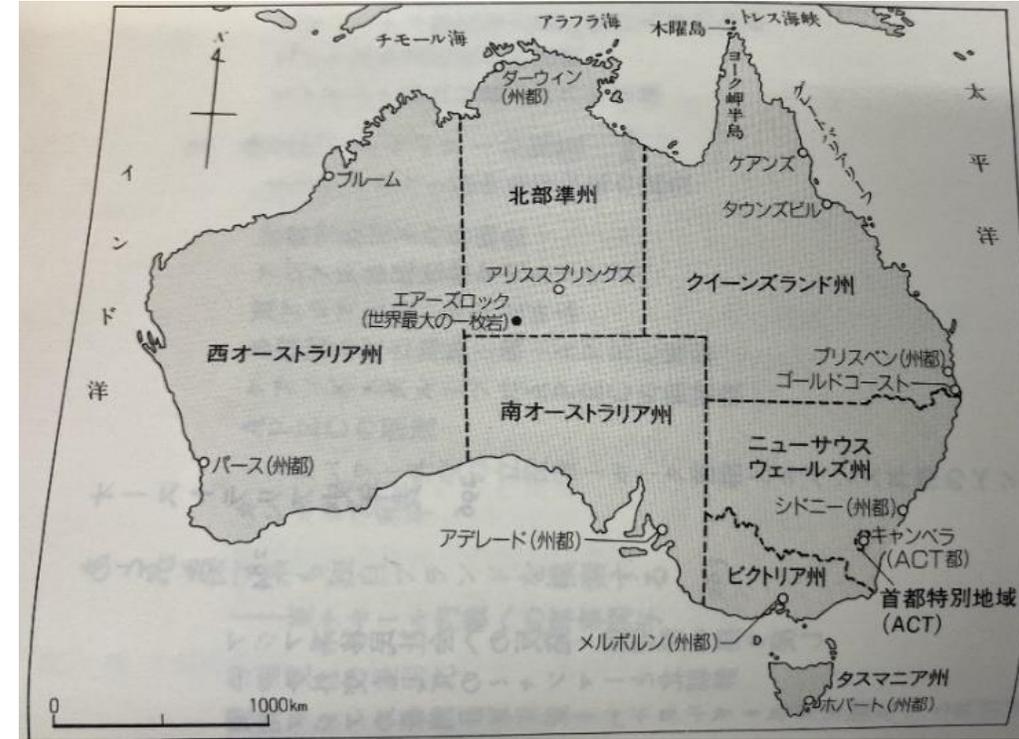
200781114 山田拓斗



地図



オーストラリア位置



オーストラリア国内地図



はじめに

ア) 移民国家 豪 高スキル人材争奪戦に参加を表明

背景) 次世代技術の発展促進
国内の技術者不足

イ) 新制度導入

ビザ制度の改革→永住権審査簡略化

年収の引き上げ

移民の重要性 増

移民大国豪の多文化主義政策の歴史



第1章 オーストラリア成立から第二次世界 大戦までの歴史

■ 第1節：オーストラリアの概要

ア) 面積 769万2,024平方km、日本の約22倍

イ) 人口 2,575万人

i) 「移住民の国」の別名

ii) 先住民はアボリジニ

ウ) 首都 キャンベラ

エ) 国家像 多文化主義



第2節：イギリスの支配とオーストラリアの誕生

ア) オーストラリア植民地化

理由：米独立、風土病や気候面も考慮

1788年1月26日 第一船団到着 植民地政策公式始動

(アーサー・フィリップ船長)

イ) 大量の労働者が豪国内に

理由：ゴールドラッシュの影響

i) 英だけでは対処が困難

ii) これにより各植民が独自で行動

これをきっかけに植民地各地の統一気運上昇

1901年に6つの植民地が統合、オーストラリア連邦成立



第3節：二つの世界大戦

1914年 豪軍は英海軍の支配下で戦争参加

ア) 第一次世界大戦

- i) 国内総人口約500万人の中から41万人の男性が軍の入隊志願
- ii) NZと合同で「アンザック軍」を形成
→ガリポリ半島でトルコ軍に敗退

イ) 第2次世界大戦

- i) 英による豪国内の防衛が不可
理由：英が日本に敗退
- ii) 豪は米国に依存
→自分たち小国の無力さを痛感



第2章 第二次世界大戦後の発展

第1節：白豪主義の終焉と多文化主義の誕生

- ア) 世界大戦後、非英語圏のヨーロッパ人移民を許容
- イ) ベトナム、インドシナなどの中東地域にも注目
理由：地位賃金労働力の魅力発見
→白豪主義<経済成長（白豪主義の終焉）

- ウ) 欧州、中東、アジア多くの文化融合
→多文化社会の誕生
理由：経済成長が目的の大量移民政策



第2節：多文化社会の発展

ア) 多文化社会

i) 非英語圏移民の文化、言語を承認

ii) 豪の発展の為政府が援助

イ) 政策当初、移民たちは豪文化の強要や生活様式に不満

原因：豪国民の無理解

→これにより「移民問題」が政府に認識

ウ) フレーザー首相 政府諮問委員会を設置

a) 「ガリバー報告書」 目的：多文化主義政策の勧告作成

b) 1999年4月、全国多文化問題諮問評議会で新たな勧告発表

連邦政府が容認→世界的に認知



第3節：大国政治の関与と挫折

ア) 戦争処理、米英他大国で実行→豪は不満

i) 豪新の2国でアンザック協定締結

目的：南太平洋地域安保確保

イ) メイジース新首相、反共産主義標を標榜

背景：米英の片腕を自負

ウ) 大国政治の関与挫折

理由：a) ベトナム戦争に西側諸国が敗北

b) 反共産主義を掲げる政策に疑問



■第3章 オーストラリアの新たな側面

■第1節：多文化ミドルパワー国家

ア) 多文化ミドルパワー国家

大国政治不参加かつ一定の力を所有

変化理由：小国の頂点で地位確立

イ) アジア化

アジアの一員→国家の発展

第三世界での地位確立

世界での影響力拡大



■ 第2節：オーストラリアの国民性

- ア) 自由な国オーストラリア
 - i) 自立に犠牲が無（米、仏との差）
 - ii) 性にも寛容
- イ) 全員対等
 - i) 名前呼び
 - ii) 人柄で評価
- ウ) メイトシップ
 - 仲間意識が強固
- 理由：入植の旅路過酷→協力意識



■ 第3節：多文化社会のアボリジニ

- ア) オーストラリアの発展
 - →アボリジニ迫害、殺戮の歴史
 - i) 75万人→9万人 「滅びゆく人」
- イ) アボリジニ地位回復
- 理由：白豪主義撤廃
 - 和解協定締結、アボリジニ土地権
 - →土地回収



■第4章 オーストラリアの課題

■第1節：白豪主義の名残

■ア) 街中「ホワイトオーストラリア」の文字

■i) テレビや新聞等のマスメディアも報道

■イ) 白豪主義不消滅理由

■ → 主政党の労働党衰退

■ 鬼子的な新たな政党誕生



■ 差別的演説、民衆興奮

■ 現在も白豪主義の名残



■ 第2節：国籍問題

- ア) 国内の6分の1は国籍未取得
 - i) 国籍のメリットが少

- イ) 豪育ち、豪訛り英語
 - しかし国籍は無保有

- ウ) 非英語での生活
 - 彼らは国籍を保有
 - ↓
- オーストラリア人とは誰？



■ 第3節：オーストラリアの移民問題

- ア) 20年で人口が500万人増
- 背景) 過去200の国と地域からの移民、その子孫の影響

- イ) 急激なアジア化
- 理由：白豪主義の撤廃、多文化主義社会導入
- 負の側面) 暴動、暴行事件多発

- 治安悪化、都市構造の変化
- →移民が特定のコミュニティに非所属



■ 今後の展望

■ 多文化主義による外国人の受入れ 賛成反対 対立

■ ア) 賛成

経済成功、高い生活水準、大人口到達

これらは移民の影響が大

イ) 反対

移民都市流入→交通渋滞や都市部の住宅価格高騰

現地人の失業率上昇



■ ウ) 自分の意見→外国人の受け入れ賛成

■ 理由) i) 経済大打撃

■ → コロナ渦移民減少、人手不足

■ ii) 人口増加

→ 人口の大半移民

白人より移民が優秀のデータ有



■ 外国人の受け入れ賛成

